

令和5年度学校評価

本年度の 重点目標	① 自立活動の実践的な指導力の向上に向け、校内支援体制を整える。 ② 活動の場に応じた感染症対策を行い、安心・安全な学習環境をつくる。		
項 目	重点目標	具体的方策	留意事項
自立活動の 実践的指導 力の向上 教務部 自立活動部 研修部 小中高共通	職員へ自立活動の啓発活動を行うとともに、自立活動の指導を行いやすい環境を整える。	・自立活動啓発のための通信「じりツイート」を発行し、本校の自立活動の実践や教材教具等を紹介する。 ・教材教具を整理し、活用しやすくする。 ・教務部と自立活動部が連携して年間指導計画の見直し、改善を行う。	・「じりツイート」を通じて自立活動についてさらに理解を深め、学校教育活動全般でも自立活動の視点をもてるようにする。 ・教材教具を整理し、リストを作成する。また、他部で管理しているものにも把握する。作成したリストを公開し、活用できるようにする。 ・新様式の年間指導計画を活用した職員の感想や意見を収集し、改善への手がかりとする。
	校内研究や現職研究で実践と検証を繰り返しながら検討し、指導力の向上を図る。	・教務部、研修部、自立活動部が連携し、自立活動についての研究を学級やグループ単位で行い、実際の指導に生かす。 ・指導の計画、実践、振り返り、改善を繰り返し、指導力の向上につなげる。	・研修部が中心となって研究の進捗状況をまとめ、横断的に情報提供する。 ・指導の様子を実践例（記録）として残し、今後の指導に役立てる。
安全安心な 学校づくり 総務部 保健体育部 生活指導部 安全衛生委員会 小中学校共通	小学部棟改修工事に伴う学習活動等への影響を最小限に留める。	・工事個所や時期、使用教室所について教職員に周知する。 ・工事関係者との打ち合わせを毎週行い、工事個所や騒音の有無等を事前に把握する。	・スクールエンジンや部会議で工事の予定や進捗状況を確認できるようにする。 ・騒音や異臭等が心配される場合は、移動する教室や場所を確保する。
	新たな健康習慣をふまえ、活動の場面に応じた感染症対策を提案する。	・調理実習や合唱など、感染リスクが高い学習活動の実施について、対策や基準となる方針を打ち出す。 ・感染経路を断つために、換気、手洗い、場面に応じたマスクの推奨を呼びかける。	・環境の変化に合わせて「感染症に関する衛生管理マニュアル」の見直しを随時行う。
	安全安心な登下校指導の体制を確立する。	・安全で安定的なスクールバスの運行を推進する。 ・緊急時の訓練を計画的に実施する。 ・自力通学生への下校指導を継続的に実施する。	・スクールバス運行会社との連絡を密にし、危険個所などが見つかった場合は早急に対応する。 ・緊急時の避難マニュアルを定期的に確認する。 ・下校時の付き添いや危険個所の点検を行い、生徒が安全意識を高められる指導を行う。
	風通しのよい職場環境をつくる。	・安全で安心な職場環境にするための意見を募集し、安全衛生委員会で検討する。	・定期的にスクールエンジンで意見を募集するとともに、職員室に箱を置いて意見を出しやすい環境をつくる。 ・安全衛生委員会で検討した内容や会議の記録をスクールエンジンで閲覧できるようにする。
いじめに 対する取組 生活指導部	児童生徒が悩みを一人で抱え込まないよう学校全体で組織的に対応する。	・年に2回、生活アンケートを実施する。 ・児童生徒の様子について、関連職員で情報を共有する。	・アンケート記入用紙は匿名とし、自己の思いを書きやすくする。 ・報告・連絡・相談を密に行い、いじめ等の問題は早い段階で組織的対処する。
職員の労 働環境 安全衛生委 員会	職員の在校時間適正化を図り、健康障害の防止に努める。	・在校時間の正確な把握に努める。 ・毎週金曜日に定時退校日を設ける。	・在校時間等の状況記録の集計結果を安全衛生委員会で確認する。 ・1か月の時間外労働が45時間を超える職員に対してそのつど部主事との面談を行い、健康障害防止に努める。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	・自立活動の実践的指導力の向上 ・安心・安全な学校づくり		